

夏の星空

【児童センター夏の星空7月号】

7月7日は七夕です。中国では、織女（しよくじょ）星ベガと牽牛（けんぎゅう）星アルタイルが一年に一度デートをする日になっています。でもこの2つの星の距離は16光年も離れているのですから、お互い光の早さで近づいても8年間かかってしまいます。関東地方では、まだ梅雨の季節なのでこれらの星々を見る機会は少ないですが、宇宙の広大なロマンを感じて下さい。

7月の夜空は、春の星座がまだ残り、夏の星座に入れ替わる季節です。夏の天の川が天頂を南北に横切り、はくちょう座・こと座・わし座のそれぞれ1等星をむすんで出来る三角形を「夏の大三角」といいますが、この三角形が見えるのは夜もだいふふけた時間になります。

< 7月の星空カレンダー >

2日（日）●新月

8日（土）○上弦

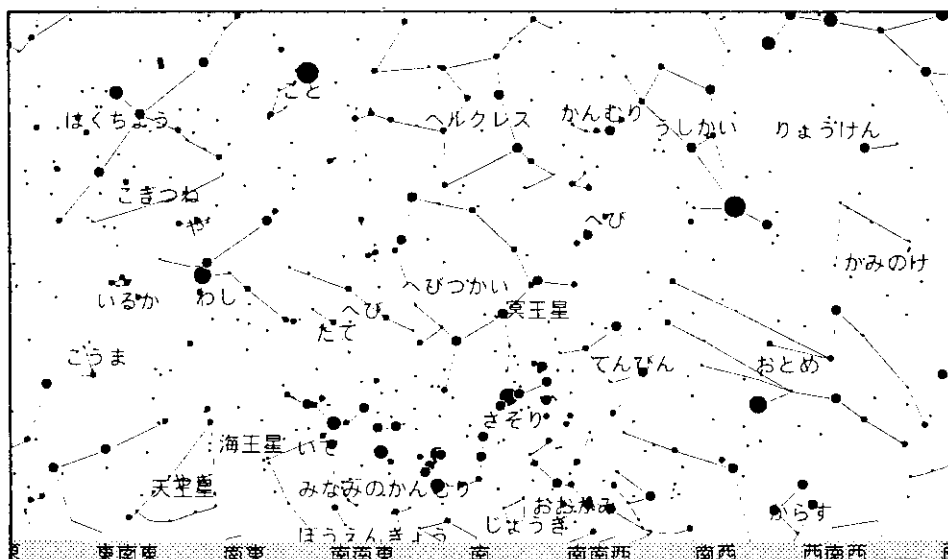
16日（日）○満月

※皆既月食

24日（月）●下弦

31日（月）●新月

右の星図は、7月中旬
夜9時ごろ、南の方向を
中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆7月16日（日）“皆既月食”があります。これは太陽からの光に照らされた地球の影に衛星である月がすっぽり隠れてしまう現象で、満月の月がオレンジ色になります。夜の10時位から午前0時少し前まで赤色をした満月を是非見て下さい。児童センターでは、16日（日）の午後7から「月食天体観望会」行います。

☆“リニア彗星”北よりの明け方と夕方にホウキ星が見えます。けむりの様な尾を引いて神秘的に見えますので、梅雨が明けたら暗い所で見て下さい。双眼鏡があると、十分楽しめます。